DRUG INFORMATION 2025　No.3

２０２５年２月２０日発行

抗がん剤の血管外漏出の対応について

日本がん看護学会・日本臨床腫瘍学会・日本臨床腫瘍薬学会の3学会から「がん薬物療法に伴う血管外漏出に関する合同ガイドライン」が発刊されました。当院の抗がん剤の血管外漏出の対応フローチャートも当該ガイドラインに沿った内容へ改訂します。

壊死性薬剤
解毒剤を速やかに投与

アクラシノン
イダマイシン
エピルビシン
カルセド
ダウノマイシン
テラルビシン
ドキソルビシン
ノバントロン
ビキセオス
ピノルビン

壊死性薬剤

アクプラ
アブラキサン
アルケラン
エクザール
エトポシド
エルプラット
オキサリプラチン
オンコビン
コスメゲン
サイメリン
ザノサー
ジェブタナ
シスプラチン
ダカルバジン
ドセタキセル
ニドラン
パクリタキセル
パドセブ
フィルデシン
ブスルフェクス
ベンダムスチン
マイトマイシン
ヨンデリス
ロゼウス

炎症性薬剤

イホマイド
イストダックス
イリノテカン
エンドキサン
エンハーツ
オニバイド
カルボプラチン
ゲムシタビン
ジフォルタ
ダルビアス
テモダール
ドキシル
トリセノックス
ハイカムチン
フルオロウラシル
ブレオ
ポライビー
マイロターグ

非壊死性薬剤

アービタックス
アキャルックス
アザシチジン
アドセトリス
アバスチン
アラノンジー
イジュド
イミフィンジ
イムネース
エムプリシティ
オプジーボ
オンキャスパー
カイプロリス
ガザイバ
カドサイラ
キイトルーダ
キロサイド
サークリサ
サイラムザ
ザルトラップ
シタラビン
ダラザレックス
テセントリク
トーリセル
トラスツズマブ
パージェタ
ハーセプチン
バベンチオ
ハラヴェン
ビーリンサイト
ビロイ
フルダラ
ベクティビックス
ベスポンサ
ベバシズマブ
ペメトレキセド
ポートラーザ
ポテリジオ
ボルテゾミブ
マブキャンパス
メソトレキセート
ヤーボイ
ユニツキシン
リサイオ
リツキサン
リツキシマブ
リブタヨ
ロイスタチン
ロイナーゼ

漏出が疑われる時は直ちに投与を中断する

1. 注射筒を引き、カテーテル内に残存する薬剤を血液とともに吸引する
2. 陰圧をかけながら、カテーテルを抜去する

漏出部位の周辺を油性ペンでマーキングする

速やかにサビーンを投与する（対応②参照）

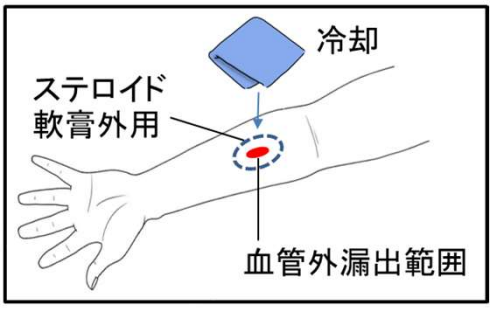
1日2～4回、1回15分程度、患部を冷却する
※エルプラット、オキサリプラチンは冷却しない（温めるのも×）

局所ステロイド軟膏塗布を検討（対応①参照）

皮膚科へ高診する

1. 患肢を挙上する
2. 疼痛および発赤の軽減、症状の軽快を確認し、改善するまで観察を続ける

対応① ステロイド軟膏塗布・冷却方法



ステロイド軟膏（デルモベート軟膏など）を 広範囲に塗布（1日2回）

≪ステロイド軟膏塗布・冷却方法≫
冷却は、患部を圧迫せず、アイスノン、保冷剤などをガーゼやタオルで包み、直接皮膚に当てないように行う。また冷やしすぎないように注意すること。（局所の温度は 20℃前後、1回15 分程度、1 日2～4回）

≪注意点≫
- 一部の漏出した薬剤は、冷却不可のものあり。
  ※フローチャートを確認するか、薬剤部に確認すること。
- ケトプロフェンパップなどの外用薬の湿布は使用しない。
  （適応外使用のため）
- ぬれタオルの使用は、皮膚が浸軟する可能性があるため避ける。

対応② サビーン投与方法

【投与量を計算する】
1日目（1000 mg/m^2）、2日目（1000 mg/m^2）、3日目（500 mg/m^2）

【オーダを入力する】
例（体表面積1.5 m^{2}の場合）
大塚生食注500mL 1本
サビーン点滴静注用500mg 3V
大塚蒸留水100mL 1本
投与時間 1～2時間、点滴静注

【調製を行う】
サビーン1Vあたり25mLの注射用水で溶解し、必要量を500mLの生理食塩水で希釈する。
末梢にルートを取って1～2時間で投与する。

≪注意点≫
- 血管外漏出してから6時間以内に投与を開始すること
- 血流を確保するため、投与15分前には冷却を終了すること
- 調製後150分以内に投与を完了すること

改訂のポイント

①壊死性薬剤の解毒薬（サビーン）は漏出が分かった時点で速やかに投与
②エルプラット（オキサリプラチン）以外は漏出部位を冷やす
③ステロイド局注はエビデンスがないため実施しない

＜参考文献＞
① がん薬物療法に伴う血管外漏出に関する合同ガイドライン（2023）
② Chemotherapy and immunotherapy guidelines (2019)
③ Guidelines for the Management of Extravasation of a Systemic Anti-Cancer Therapy including Cytotoxic Agents（2017）
④ Management of Chemotherapy Extravasation: ESMO Clinical Practice Guidelines（2012）
⑤ Management of the extravasation of anti-neoplastic agents（2015）

医療安全マニュアル、ポケットマニュアルも改訂予定です

不明な点につきましては、薬剤部・製剤室（内線 8321）までご連絡下さい。

文責：山田（悠）・志水